

光経済研究所株式会社

東京都中央区日本橋人形町 1-18-9 TEL 03 (3669) 2331(代)

証券投資顧問業登録関東財務局長第 557 号 日本証券投資顧問業協会会員 011-00557 号

2003 年 4 月 21 日号

ファンドマネージャー 出来岡 潔

<http://www.hikarikeizai.co.jp>

前は、「上に行く力が大変強い銘柄は下げたとしても転換線が下値の壁になることが多い」ということについてご説明しました。(4月14日号のレポート参照)

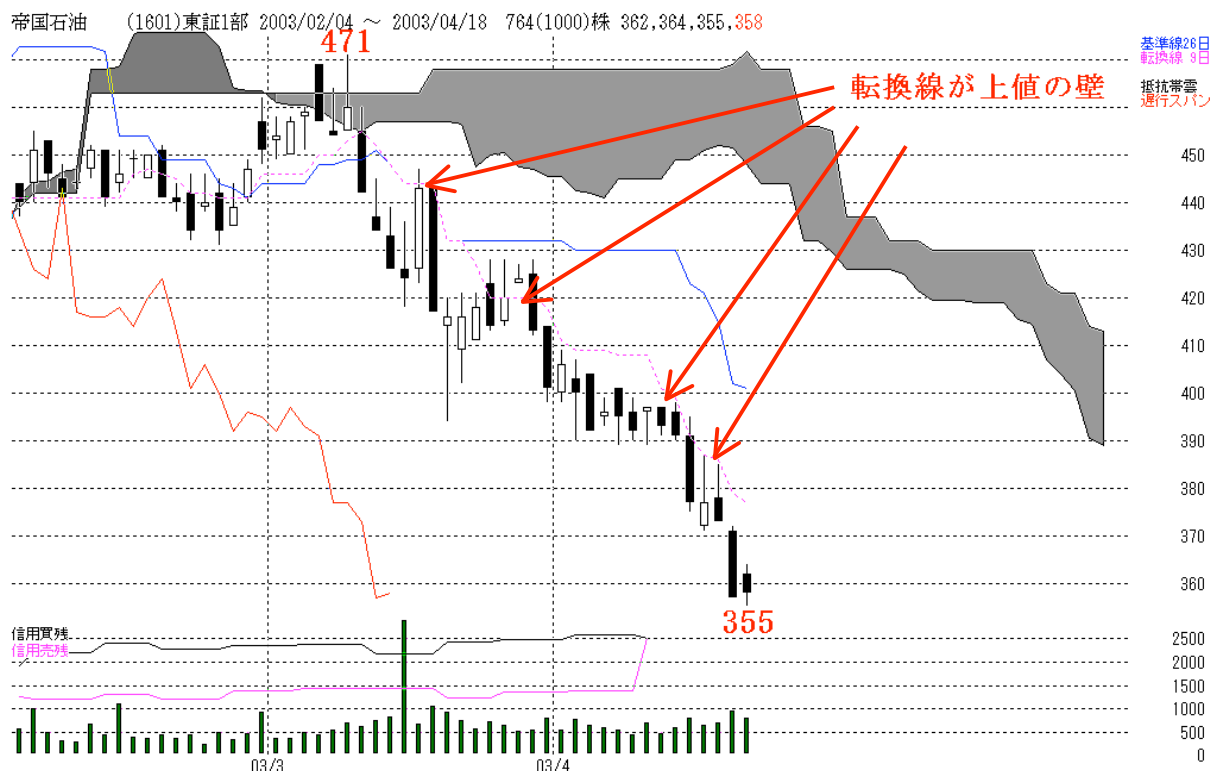
今回は下げ相場についてです。**1601 帝石**のチャートをご覧ください。今度は前回とは全く逆です。転換線に沿って値下がりが続いています。このように下げが急な場合は転換線が上値の壁になることが多いのです。つまり、**上に行く力が大変乏しい銘柄は戻したとしても転換線が上値の壁になることが多い**ということになります。

そこで、「上に行く力が大変強い銘柄の押しめは転換線で待つ」反対に、上に行く力が大変乏しい銘柄は転換線まで戻りがあったら売却をするのが賢明といえましょう。

この件に関するお問い合わせは 03-3669-5022 質問メールは dekioka@hikarikeizai.co.jp

毎日更新、旬な銘柄を選んで分かりやすく解説する、無料テレフォンサービスの「やさしいチャート教室」 03-3669-5552 で放送中、是非お聞きください。

《帝石》日足



Alpha Chart 社製

このレポートは投資の判断となる情報の提供を目的としたものです。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。